

一般社団法人岡崎市観光協会設立趣意書

岡崎市観光協会（旧観光協会）は、昭和 30 年岡崎市に観光客を誘致し、観光事業の振興を図り、これらをもって岡崎市内の産業と経済の発展に寄与することを目的として発足いたしました。

以来 63 年間にわたり岡崎市と共催による桜まつり、家康行列、花火大会など全国屈指の観光事業を実施し、観光イベント事業の更なる充実を目指すほか、観光大使おかざきを効果的に活用し、親善都市等の交流や国内外に岡崎市の観光等を広く PR するなど、観光客誘致に向けた観光キャンペーンにも精力的に取り組んでまいりました。また、地域伝統行事の支援、観光産業の推進、広域観光をめざした各種協議会とも連携を図り、年間を通じた賑わいのある観光地の創出を図っていくとともに、幅広い観光客誘致増進活動を展開し、岡崎市の活性化と地域振興、産業経済の発展に寄与してまいりました。

しかしながら、昨今の観光客誘致の動向は大きいうねりを上げて大きく変貌しつつあります。バブル経済崩壊後、国は観光立国推進基本計画を策定するなど「観光先進国」をめざし日本版DMO設立を促進させ、愛知県は急速に変化していく観光客誘致のニーズに対応すべく「あいち観光戦略」のもと、各々の地域ならではの伝統・文化・産業に触れる観光を推進しています。さらに、岡崎市もアクションプランを策定し、本市の魅力をさらに高め、効率的、効果的にマネジメントできる人材の育成、確保と観光推進体制の確立を進めています。

このような社会情勢の変化に対応していくために、従来から任意団体でありました旧観光協会も観光振興事業の積極的な進展と機動性豊かな事業展開を進めるとともに、組織の抜本的な体制の見直しと充実拡充が求められておりました。

新しい観光を推進していくためには公民連携による観光推進体制が必要となりますが、今までの旧観光協会の役割は、主として市に追従して行うイベントの開催や PR 事業が中心であり、他の組織や諸団体との情報共有や連携不足などにより、十分な観光プロモーションが展開できませんでした。また、情報発信も公共性の高いものが中心であり、旅行に欠かせないグルメや自然、景観と言った一般旅行者のニーズが高い資源を発信できない状況が続いてきました。

これらの問題を解決するために、現行の行政主体の旧観光協会を解散させ、新たに民間主導型の社団法人岡崎市観光協会を発足、移行させることにより、観光協会として果たすべき機能の強化と社会的な信頼性を向上させます。また、会員相互の連携を図りながら、観光資源の磨き直しやおもてなし体制の充実強化を推進するなど、岡崎の観光を総合的にプロデュースできる法人として観光産業都市おかざきのけん引役を担っていきます。

平成 30 年 2 月 21 日

一般社団法人岡崎市観光協会